

株式会社日新電機システム

最新機械設備の導入で製造プロセス改善による 製品納期短縮の実現

外注していたパーツの内製化を目指して粉体塗装設備を、手作業工程の全自動化を図るためアイアンワーカーをそれぞれ導入し、作業の効率化に成功。結果、納期の大幅短縮をはじめ、製造コストの削減、品質向上等多くの成果が上がった。

課題

■ 外注先の納品待ちで「手待ち」状態が1週間もあった

事業のきっかけ

当社は分電盤や配電盤といった電気機械器具の設計・製造・販売を行っている。この電気機械器具に最終工程で組付ける「保護板」というパーツがあるが、保護板の製造に必要な塗装設備がないため、自社製造できずにいた。そのため、顧客から注文を受けた後、外注先へ発注をかけ製造を進める生産ラインで長年やってきたが、顧客の希望納期に応えられない状態にずっと悩んでいた。また、配線に必要な銅製パーツがあるが、その穴あけ作業はこれまで中堅社員が手作業で一穴ずつあけていたが、作業時間は膨大で、一刻も早く全自動化して労働環境を改善、作業の効率化を図りたいと考えていた。

成果

■ 受注から最短5日間で納品を実現



事業の取り組み～成果

導入した粉体塗装設備とアイアンワーカーによって、多くの成果が上がった。これまで15日間だった納期が5日間に大幅短縮され、約90%の削減に成功。スケジュール管理がやり易くなったことで、顧客の要望にスピーディーに応えられるようになった。銅製パーツの加工でも、作業効率の改善はじめ、生じていた誤差や狂い、いわゆるヒューマンエラーが一切なくなり、中堅・新人関係なく高い品質を保てるようになった。本用品の品質向上は、商品全体の質向上にも寄与した。他にも、製造コストの削減、外注費用200万円の削減、残業の削減等、数字面で大きな成果となって現れている。

展望

■ 自社内製化の体制を定着させ安定供給を目指す

今後の展望

粉体塗装設備の導入は、「自社100%」の目標に近づくための第一歩であるが、この目標を実現する為にも、まずは内製化した保護板の製造体制を社内でしっかりと定着させていくことが重要。保護板以外の製造にも色々とチャレンジしてみたい。県内の盤屋業界は他業種と比較しても年齢層が高く、人材育成が急務。その一方、県内需要は衰える様子がなく、当社の受注・売上も順調に伸びている。この県内需要に地元企業で応えるためには、他社との連携が不可欠だ。設備導入を機に削減できた経費は、今まで以上に社員への投資に回して、資格取得等のスキルアップを応援していきたい。

導入した油圧式 NC 形鋼加工機アイアンワーカー



工場の一角に設置した粉体塗装設備。移動することも可能。



塗装用パウダーを吹き付ける様子。溶剤塗装に比べ人や環境への影響がほとんどない。

Q 御社のモットーを教えてください

A 顧客の視点で考え多様化するニーズに応える。高水準の製品を一貫して提供できる様全社員で継続的改善に取り組む。



代表取締役
上間 明夫 さん

つむぐ × つなぐ

今後の取り組みについてお聞かせ下さい。

上間さんビジョン

今年初めて高卒者2名を採用できた。2年前からハローワークに通い続けた成果がやっと実った。地元企業でやると決めてくれた彼らに感謝し、責任を持って一人前の技術者に育てあげたい。将来的には、自社製品とソフトウェアを組合せた付加価値の高い製品開発を進め、県内市場でチャレンジしたい。

神山さんビジョン

高卒者2名が入って以来、今まで以上に中堅社員が意欲を持って後輩指導に取り組んでいる。2名とも既に危なげなく仕事をこなしてくれており、5～6年後には我々を追い越してしまうのではと戦々恐々。この業種はものづくりの面白さをダイナミックに感じられると思う。若い人々にはその魅力を教えてあげたい。

電気機械器具製造業

株式会社日新電機システム

〒904-2241
沖縄県うるま市兼箇段 662-4
tel.098-995-6118 fax.098-995-6107



・代表者名	代表取締役 上間 明夫	・設 立	平成23年4月
・資 本 金	2,130万円	・従業員数	26人